

東京都立葛飾総合高等学校 令和5年度 人間と社会 年間授業計画

教科： 人間と社会 単位数： 1・2年次によるポイントリザーブ制
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ E 組
 教科担当者： (A組：山田秀・土濃塚) (B組：飯島・丸橋) (C組：堀・伊藤) (D組：山田純・岡部) (E組：根岸・田熊)
 使用教科書： (人間と社会 (東京都教育委員会))
 教科 人間と社会 の目標

【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識および技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択できるよう、自己と社会との関りから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
1 学期	全体ガイダンス	人間と社会において学習すべきこと、目標確認	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	・奉仕活動事前指導 ・地域清掃 ・地域清掃事後学習	【演習】演習を通して「地域社会を築く」について考える。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	・防災訓練	防災訓練を通して、自助共助や地域防災について考え、避難所の設営体験や手技訓練を行って、災害発生時の役割を自覚し、体験する。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	・講演「キャリアとは」	【演習】講演を通して、働くことの意義について考え協議する。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
2 学期	・奉仕体験活動 働くことの意義 学ぶことの意義 地域社会を築く 訪問インタビュー（職業人インタビュー）	【体験】各自が選択した実習場所での奉仕体験活動を実施する。 ≪地域保育園及び幼稚園・地域高齢者施設・地域のお祭りでの運営補助・地域スポーツクラブ等と連携≫	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	奉仕体験活動事後指導	【演習】事後指導を通して、振り返りを行う。気づきをまとめ、発表と共有を行う。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	講演会（演習） 講演会振り返り	チームで活動することの意義についての講演会を聞き、そのメリットと可能性を知り、お互いで話し合うことで共有し、今後に生かす。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
3 学期	地域清掃 地域清掃事前事後指導	地域づくりについて考え、清掃を行うことで貢献する。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	救命救急講習（演習） 救命救急講習（体験）	救命救急のやり方を学び、必要な知識を得る。 救命救急を実際に体験することでその技術を学び、その場面に遭遇したときにためらいなく実行できるようにする。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	健康講話	健康づくりのために何が必要か、講演を聞いて考える。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○
	人間と社会 まとめ	二年間を通じた学習のまとめ、発表。	出欠状況、課題への取組み、提出状況などを総合的に判断し、評価する。	○	○	○